

KGA GOLFERS' NEWS

2021夏号 No.134

一般社団法人 関東ゴルフ連盟

2021年KGA主催決勝競技詳報

関東アマチュアゴルフ選手権

関東女子ゴルフ選手権

関東グランドシニアゴルフ選手権

関東女子グランドシニアゴルフ選手権

特集記事

コロナ禍を経てKGA競技が得たものは
「TEAM KGAジュニア」卒業生インタビュー
改修という名の再構築
コースセッティング考察





内藤正幸
競技委員長

吉田裕明
広報委員長

特集1

内藤正幸競技委員長に聞く

コロナ禍を経てKGA競技が得たものは



昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、KGAはほとんどすべての競技の開催を中止しました。今年は、他のスポーツ競技等を参考に、有効な感染防止マニュアルを作成。それに沿って競技を実施しています。それでも実際の現場では、競技委員の方々は、開催倶楽部にご協力いただきながら、大変なご苦労がございました。その実状、ならびに1年間のブランクがKGA競技にもたらしたもののなどについて、内藤正幸競技委員長のお話をうかがいました。聞き手は吉田裕明広報委員長。

2021年7月31日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

1/ 特集1

コロナ禍を経てKGA競技が得たものは

内藤正幸競技委員長に聞く

4/ 2021年KGA主催決勝競技詳報

関東アマチュアゴルフ選手権

関東女子ゴルフ選手権

関東グランドシニアゴルフ選手権

関東女子グランドシニアゴルフ選手権

12/ 特集2

「TEAM KGAジュニア」卒業生インタビュー

吉田優利・鶴岡果恋・澁澤莉絵

KGAで学んだことを糧に、視線は世界へ

16/ 改修という名の再構築

—高度な戦略性と幅広い層へのアプローチ—

18/ コースセッティング考察

—コースセッティングはストーリー作りから始まる—

20/ 新任正副部長紹介

ハンディキャップ委員会普及部会

ジュニア育成委員会普及部会

22/ 委員会インタビュー

競技委員会月例競技部会

23/ コラム 世界で通用するゴルフ英語を知っておこう！

24/ INFORMATION

第5回定時社員総会開催

2021年春季ジュニアゴルフスクール開催

JGAハンディキャップ専用サイトオープン

地域通信 栃木県WAGシニアゴルフスクールレポート



2年ぶりの開幕の場となった関東女子ゴルフ選手権決勝会場、日光カンツリー倶楽部。「日本百名山」にも数えられる男体山に向かって歩みを進める選手たち。

編集／一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会

統括／吉田裕明委員長

大竹 茂副委員長

塚越克一副委員長

久保田昌幸委員

黒川秀昭委員

鈴木一也委員

高岡和弘委員

雷澤 仁委員

本條 強委員

北川外志廣参与

鈴木遍理参与

福島 靖参与

表紙・裏表紙／関東女子ゴルフ選手権決勝会場
日光カンツリー倶楽部

裏表紙／関東アマチュアゴルフ選手権決勝会場
成田ヒルズカントリークラブ



ミッドアマチュアの振興が重要と語る吉田委員長

吉田 最初に、内藤委員長から選手や開催倶楽部、関係者にひとことお願いします。

内藤 今年の競技開催は、選手の皆さん、ならびに開催倶楽部さんの感染対策に対するご理解とその徹底のお陰と思っております。例えば、選手は密になりがちな練習グリーン上でも密にならず、プレー終了後の練習場・練習グリーンの使用禁止についてもご理解いただき、速やかにゴルフ場から退場されています。

吉田 競技運営上の様々な変化について選手たちの反応は？

内藤 選手からのクレームは「ホールロケーションが難しい」ということ以外、聞いていません（笑）。一番の変化は出場人数で、従来の最大160名から120名に減らし、2ウェイのスループレーになったことで、選手は歓迎していると思います。

内藤 そう思います。この関東アマでも、社会人10名が3日目

吉田 一方、2年ぶりに目にした選手たちに、何か変化は？

内藤 「関東女子」では、上位選手の成長ぶりに驚きました。ジュニア育成委員の話では、彼女たちは「関東女子」の難しいコースセティングでプレーすることを楽しみにしているそうです。

吉田 男子のほうは？

内藤 「関東アマ」は、上位選手の層が厚くなったと思います。いずれにしても、こちら側もホールロケーションなど運営のレベルを上げないと、選手たちに失礼だと思いました。

KGA競技にはできることがまだまだある

吉田 ホールロケーションは、選手の力量をフェアに問う設定でなければ——運・不運が大きく作用する設定では——JGA競技での活躍につながりませんし、KGA全体のレベルアップにもなりません。

内藤 KGA競技の一番の特徴であり、良いところは、競技委員の「手作り」ということです。KGA競技は様々な特色のあるコースで開催されますが、100以上の全競技を競技委員が自ら、下見からホールロケーションまで行い、フェアなセッティングで、KGAを代表するに相応しい選手が選ばれるよう勉強しています。

吉田 考えることが多くて大変ですね。

内藤 確かに大変です。でも、次々と優れたプレーヤーが育っているのがうれしいですね。

吉田 とところで、規則改訂から実質一年が経ちました。ここまですでに気になることは？

内藤 2019年に改訂された規則について、競技委員会ではリモートで勉強会を何度か開いています。でも、規則は競技進行やホールロケーションの設定にも関係することなので、やは



KGA競技の良さは競技委員による「手作り」と内藤委員長

以降に進んでいます。若い選手はラウンド後に、彼らから学べるものがいっぱいあったでしょう。実は、競技委員にも同じ悩みがあります。以前は夕食を一緒にとりながら、規則や運営についてディスカッションし、勉強する時間を持てたのですが、いまはその機会がありません。

周りの反応を見て

「やって良かった」と実感

吉田 他にも、競技委員さんのご苦労がおりと思えます。

内藤 委員のなかには、今年は長距離移動を避けているという方がおられます。その分、動ける委員の担当が増えたり、移動

距離が長くなるといった影響は避けられません。また、少人数で実施した競技もありますが、「だったら、今後も」とはいかないのです。なぜなら、ぎりぎりの人数では、現場で後進を育てる余裕がなくなるからです。しかし、競技委員の配置については、事務局が一番苦労しています。やりくりは本当に大変だと思っています。

吉田 開催倶楽部に対しては？

内藤 この状況下、競技を開催していただいた倶楽部さんには、レストランなどの営業面のマイナスに対し、大変申し訳ないと思っております。ところが、事務局の話では、開催倶楽部さんからは「開催していただき、ありがとうございます」と感謝の言葉をいただいているそうです。KGA加盟倶楽部のご理解・ご協力は、改めて素晴らしいと思っています。

吉田 関東倶楽部対抗、同女子倶楽部対抗も、今年はいろんな面で規模を縮小せざるを得ず、批判を覚悟していたのですが、開催後、ネガティブな反応は一切聞こえていません。苦労した甲斐があると思います。

り実際に現場で経験しないと分からないことがあります。その点から、まだ経験不足の委員がいることは確かです。

吉田 改訂された規則には簡略化とプレーのスピードアップという大きな狙いがあつたと理解しております。現場ではまだ浸透していないということでしょうか。

内藤 そうですね。いくら規則が簡略化されても、競技委員がすぐにジャッジできないと、競技進行のスピードアップにはつながりません。規則の理解不足は、選手にも言えます。

吉田 最後に、コロナ禍を経て、新しくゴルフを始める人が増え、ゴルフ場も賑わっているようです。このトレンドは、KGAの競技にも反映されておりますか？

内藤 はい。全競技でコロナ禍以前よりも申込者数が増えており、予選競技はいずれの会場もキャンセル待ちが出ています。

吉田 申し込みが最も増えたのは？

内藤 関東月例が一番ですが、次に男女ともシニア以上の競技



今年試した競技運営から得たことは多いと語り合う両委員長

りました。

内藤 「今年は何としても」という各都県さんの熱意のお陰です。私も倶楽部代表として予選競技に出場しましたが、周りの反応を見て「本当にやって良かった」と実感しました。倶楽部代表としてプレーする重み、喜びは何物にも代えがたい経験です。

吉田 スループレーなど、今年は新たに試されたことがたくさんあります。来年は以降は？

内藤 今年初めてやった結果、得たものはたくさんあると思います。来年については、コロナの状況もありますし、全競技が終わってから検討することになるでしょう。

吉田 得たものはたくさんあります。いかがですか？

内藤 はい。そう思います。

の申し込みが増えていきます。

吉田 今後の競技ゴルフの振興を考えると、ミッドアマの動向が気になります。

内藤 実は、ミッドアマの増え方が一番小さいのです。出たとしても、仕事を休めないから、というのが大きな理由なのでしょう。今回の「関東アマ」は土曜・火曜の開催でした。ミッドアマも週末開催を検討したいですね。

吉田 それには開催倶楽部さんのご協力が不可欠ですが、できれば倶楽部対抗もそうしたいですね。KGAの競技ゴルフにはできることがまだまだあります。

内藤 ええ。そのためにもKGA競技は、ゴルフから「出てみたい」と思われる競技にならないかなと思っています。



中野麟太郎を優勝に導いた 同世代の競技仲間たちとの 切磋琢磨



終始険しい顔でプレーを進めた中野が、初めて笑顔を見せたのは、18番グリーン脇で応援する仲間たちから祝福の声が届いたときだった。



2年ぶりの開催となった関東アマチュアゴルフ選手権。日大勢の植木祥多、内田直輝、新村駿、各選手の猛追を振り切って優勝したのは、前回19年大会を制した市川輝選手に続く高校生で「TEAM KGAジュニア」所属の中野麟太郎選手(明大付属中野高3年)だった。

「長かった。最後はしびれました」

1打差の首位で迎えた最終日は14番まで8バーディー、2ボギーで独走かと思われたが、16番からショットが乱れて3連続ボギー。

「最終日を首位で迎えるのは初めてで、人よりコースが

相手だと言い聞かせたけど、最後の3ホールは意識してしまっただけ…」

最難関ホールの18番パー4で1メートルのボギーパットを慎重に沈め、1打差で逃げ切った中野選手は胸をなで下ろした。

同世代のライバルの存在が何よりも大きい。同じ「TEAM KGAジュニア」で17、19年関東ジュニア優勝、19年日本ジュニア2位の小林大河選手(西武台千葉高3年)には常に先を越されてきた。今年3月の全国高校選手権でも、優勝した小林選手に1打及ばない2位だった。

特に悔しかったのは19年の本競技。小林選手が4位



1 2位の植木祥多選手。2 3位タイの新村駿選手。3 3位タイの内田直輝選手。4 5位の隅内雅人選手。5 本決勝競技最年長出場の和博選手(左)と同最年少、14歳の清野桜貴選手は第4ラウンドを同組でプレーした。6 ともに決勝競技に出場した竹原親子。竹原佳吾選手(左)と竹原洋行選手



だったのに対し、自らは最終日に80をたたいて49位に沈み「4日間を戦い抜くための体力が必要」と肉体的改造に着手。フィジカルトレーニングと食事コントロールに取り組み、181センチの身長はほとんど変わらないものの体重は当時の66キロから78キロに。その努力が実を結び、11位タイだった小林選手からも真ッ先に優勝を祝福された。

池が大胆に絡み、グリーンのアングレーションも複雑なピット・ダイ設計の難コースで4日間ともアンダーパーの通算11アンダーは想定外のスコア。内藤正幸競技委員長も、「ホールロケーションをどこに決めても、

どうしようもない。選手のレベルが相当上がっている」と驚いた。その陰には、今のゴルフ界全体の潮流となっている同世代の選手同士の切磋琢磨がある。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	4R	Total
1	中野 麟太郎	TEAM KGA ジュニア	70	70	68	69	277
2	植木 祥多	千葉	71	71	70	66	278
3	新村 駿	穂高	71	70	71	67	279
	内田 直輝	伊勢原	69	72	68	70	279
5	隅内 雅人	関東ジュニア	70	70	70	70	280



佐久間朱莉 会心のゴルフで2連覇達成！

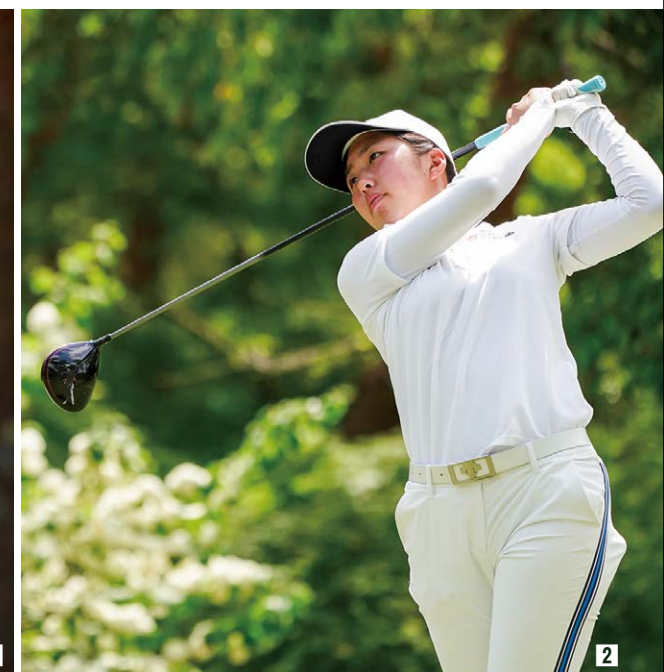


伸び盛りの多くの
実力選手がタフな
コースセッティングを相手に
「質の高いプレーが目標」と
答えるなか、敢えて
「優勝」を意識していたのが、
前回優勝の佐久間だった。

関東女子ゴルフ選手権決勝競技も、このところの優勝争いは若年層が中心。いわば「伸び盛り」の選手たちが、丸一年のブランクを経てどんな成長ぶりをするのか？ また、新たな台頭は？ 注目の選手権だった。

しかし、終わってみれば、2年前の前回大会をプレーオフの末に制した佐久間朱莉選手（当時・高校2年）が終始安定（唯一、3日間ともアンダーパーをマーク）したゴルフで、初日からのトップを守って“完全優勝”。他を圧倒する結果となった。

「2年前は気が付いたらプレーオフになって、勝っていたみたい（笑）。でも、今回は最初から2連覇できたら



■ 前はプレーオフ惜敗。今回は最終日に順位を2位にまで上げた岩井千怜選手。■ 優勝争いという貴重な経験を積んだ高校2年の関口碧選手。■ 最終日は不運なトリプルボギー発進から見事な追い上げて4位になった岩井明愛選手。■ 2大会連続入賞。19年日本女子学生優勝の星川ひなの選手。



いいなあと思ってプレーしていたので、とてもうれしいです」（佐久間選手）

それでも、最終日の前半はパットが決まらずフラストレーションを募らせていた。だが、10番ホールでバーディーパットが「ぼーんと入って」からはのびのびプレー。14番、15番の連続バーディーで優勝を決定づけると小さくガッツポーズをとっていた。

小柄ながらドライバーの飛距離は260ヤード。視線は既に次のステージへ。そこでも活躍してくれるに違いない。彼女の他にも、岩井姉妹、六車日那乃選手、森本天選手といった「TEAM KGAジュニア」のOGが本

選手権をもってKGA競技を卒業する予定だ。しかし、KGAの女子選手のレベルが下がる心配はない。今回2位タイになった関口碧選手をはじめ、多くの有望選手の存在が確認された選手権でもあった。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	佐久間 朱莉	関東女子	68	71	70	209
2	岩井 千怜	関東女子	71	72	71	214
	関口 碧	TEAM KGA ジュニア	68	72	74	214
4	岩井 明愛	関東ジュニア	71	71	73	215
	星川 ひなの	日本大	72	67	76	215



迫る富田久三の気配を感じながらも、宮本清は「パープレーで負けたら仕方ない」と冷静にマネジメント。最終ホールでパーをセーブすると、ひとつ大きく息をついた。



初めて手にしたKGAタイトルに満面の笑みが絶えない宮本清選手。

16番パー3のティーイングエリア。最終組の宮本清選手は、約170ヤード先のグリーンにいる富田久三選手のプレーを見つめながら、「久ちゃん(富田選手)は、しぶといからなあ」と、つぶやいた。

20年以上、数々の試合で戦ってきた相手だけに、実力は知り尽くしていた。

優勝争いは、共に70歳、今年がグランドシニアデビューとなる同学年のこの二人に絞られていた。

この時点で宮本選手のリードは、1打。「相手は17番でバーディーを奪う。接戦になる」と考えていた。

最終18番パー4。宮本選手は左ラフからの第2打で、あえて旗を狙わず、左カラーに運んでパーを拾う作戦をとった。無理にバーディーを奪いにいくより、「アウ

ト、インともパープレーで、負けたら仕方がない」と考えたからだ。

実は、富田選手が17番でボギーを叩いたため、2打差がついていた。だが、たとえそれを知っていても作戦は変わらなかっただろう。

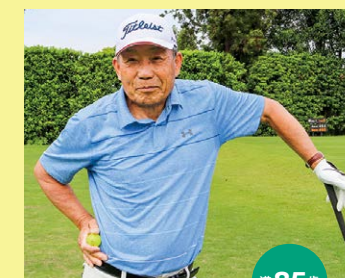
それにしても、実にしぶとい「パープレー」だった。初日のエージシュート達成者は8人。「今日は5人くらいに減るよう、16～18番を難しくしました」と、内藤正幸競技委員長が冗談めかして話したように、上がり3ホールはすべて厳しい位置に旗竿が立てられていた。宮本選手は、その3ホールで1～2メートルのしびれるパーパットを次々と沈めてみせた。

宮本選手は、関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技



1 3位の富田文雄選手は2日目にエージシュートの73をマーク。2 多くのKGAタイトルを持つ白井敏夫選手。3 渡辺和行選手はグランドシニア実質2季目で初の入賞。4 グランドシニア入り後、3大会連続上位でプレーした西田豊明選手。5 入賞選手では最年長、満76歳の飯島兼廣選手。6 鈴木久男選手は今回初の決勝競技出場で見事入賞。

エージシュート連発 年長3選手



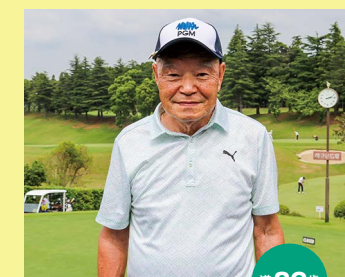
77+77=154 (12位タイ)
中村 清(水戸)
1935年9月20日生まれ

満85歳



83+75=158 (28位タイ)
斎藤昌俊(嵐山)
1937年5月21日生まれ

満84歳



73+82=155 (18位タイ)
小林祺一郎(富士チサン)
1939年1月22日生まれ

満82歳

に25回出場して一昨年、表彰を受けるなど、長年、トップ選手として活躍してきた。2015年の日本シニアゴルフ選手権では、2位に入っている。これほどの実力者が今まで、不思議と「日本」「関東」での優勝がなかったが、これがうれしい初タイトルとなった。

新型コロナの蔓延で、ほとんどの競技が中止となった昨年。宮本選手は69歳にして新しいスイング理論に取り組んだという。「結局は、元に戻したのですが」と笑う。

富田選手は「パットがしっかり打てなかった(のが敗因)。でも、昨年から落ちてしまった飛距離が戻ってきたんです」と、こちらも明るい表情で戦いを振り返った。何歳になっても持ち続ける向上心。

二人は、よきライバルとして、これからも競技の第一線で競い合うだろう。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	宮本 清	高坂	72	72	144
2	富田 久三	静ヒルズ	74	72	146
3	富田 文雄	茨城	76	73	149
4	鈴木 久男	ザ ナショナル・千葉	77	73	150
5	白井 敏夫	総武	77	75	152
	渡辺 和行	玉造	75	77	152
	西田 豊明	富士小山	74	78	152
	飯島 兼廣	大厚木	71	81	152



女子グランドシニアも ルーキー優勝 角田里子が復活V

KGAタイトルに4度輝き、この世代では圧倒的な飛距離を誇る角田だが、昨年は左膝半月板損傷の手術で長期離脱。今回はそこからの復活という特別な優勝だった。



60歳以上の女性ゴルファーによる大会は、各ブロック予選を勝ち抜いた109選手が決勝で関東No.1の座を争った。昨年はコロナ禍で中止となったため、今回は1960、61年生まれの2世代がデビュー。一層の激戦が予想された中、栄冠を勝ち取ったのは61年3月生まれの角田里子だった。

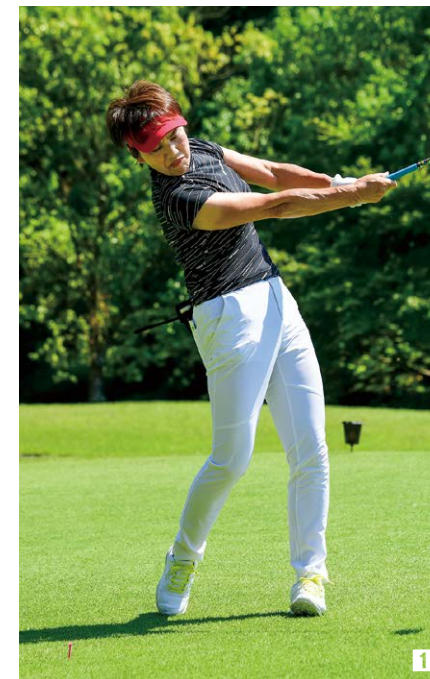
東京女子体育大出身の角田は、中学時代はバレーボール、その後は陸上のやり投げで国体にも出場した今大会屈指のアスリート。ゴルフは30歳を過ぎてから始め、キャリアで200ヤードを今でも優に超えるドライバーを武器に、これまで関東女子ミッドアマを1度、関東女子シニアを3度優勝している。今回が5つ目の

関東タイトルで、「緊張してプレッシャーがあった。本当にうれしい」と笑みがあふれた。

第1ラウンドは5バーディー、5ボギーで回り、2位の平野いずみに1打差、前回優勝の林恵子ら3選手に2打差をつける首位。

最終日は3番パー5でダブルボギーが先行したが、その後に4バーディーを奪って2日間を72、72のイーブンパー144の大会記録で栄冠を手にした。

昨年は左膝半月板損傷の手術を受け、クラブを3カ月間も握ることができなかった。「パターさえも手にする気にならなかった」



1 復活優勝の角田里子選手。2 70歳以上の部の優勝、増田京子選手。第1回大会(2017年)の優勝者。今年も安定したプレーで2位に入賞。3 小池晶代選手。過去3大会の成績は26位、18位、6位、そして今年は3位と右肩上がり。4 植松千香子選手。今年のルーキー。第2Rの最終ホールでこの日初のバーディーをマークし、この笑顔。5 林恵子選手。この世代を代表するプレーヤー。この大会の成績は2位タイ、2位、優勝、そして今年は3位タイ。

決勝競技の最年長出場選手は今年も山口八重子選手(82歳)。



スイングの勢いでバイザーが飛ぶ。

マスク越しでも笑顔があふれた



左上から、正木智枝選手、平野いずみ選手、田谷千秋選手、平川朱美選手。

だが、地元の栃木県内の試合で復帰すると再び競技への情熱が沸いてきた。「この年齢になると、けがや病気をみんな抱えている。その中で勝つことができ、夢みたいです」

女子グランドシニアの全国大会はないため、今後は過去3位が最高だった日本女子シニアでの優勝を目標に据えていきたいという。

2017年にスタートした本競技は4度目の開催。最年長82歳の山口八重子も2日間を元気一杯に完走し、第1回大会優勝の72歳、増田京子は最終日をエージシュートに迫る73で回って3打差の2位でフィニッシュ、健在を見せつけた。

生涯スポーツの象徴ともなっている大会に、内藤正幸競技委員長は「開催倶楽部さんが素晴らしい舞台を整え、提供して下さったお陰」と感謝した。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	角田 里子	鹿沼	72	72	144
2	増田 京子	筑波	74	73	147
3	小池 晶代	白水	75	75	150
	植松 千香子	石坂	74	76	150
	林 恵子	総武	74	76	150

プロフィール



澁澤莉絵留 (しぶさわ・りえる)

2000年12月24日、群馬県太田市出身。陸上とゴルフの二刀流だった小6の時に吉田優利とともにIMGゴルフアカデミーに派遣。福岡県・沖学園高で18年日本ジュニア3位などの成績を挙げて19年11月プロ転向。



鶴岡果恋 (つるか・かれん)

1999年8月20日、神奈川県横浜市出身。湘南学院高1年で「TEAM KGA ジュニア」の女子指定強化選手となり、16年日本ジュニア4位タイ、17年日本女子アマ24位タイ。18年7月にプロ転向し、今年4月のヤマハレディースで4位タイに入るなど上昇中。



吉田優利 (よしだ・ゆうり)

2000年4月17日、千葉県市川市出身。小6の時に「TEAM KGA ジュニア」の米フロリダ州IMGゴルフアカデミー派遣1期生となり、麗澤高1年の16年にナショナルチーム入り。18年に日本女子アマ、日本ジュニアを優勝。19年11月プロ転向。



特集2
「TEAM KGA ジュニア」卒業生プロインタビュー
吉田優利 鶴岡果恋 澁澤莉絵留
KGAで学んだことを糧に、
視線は世界へ

「TEAM KGA ジュニア」は世界で活躍できる競技者を育成・強化して輩出することを目標に設立され、国内はもちろん、畑岡奈紗選手ら世界を舞台にする選手も送り出している。

卒業してプロの世界に踏み出した新進鋭の吉田優利(21)、澁澤莉絵留(20)、鶴岡果恋(21)各選手に、KGA時代の思い出や後輩に伝えたいことなどを聞いた。聞き手は鈴木遍理広報委員参与。

鈴木 プロゴルフ界もコロナ禍で昨年から大変なシーズンとなっています。試合ができなかった時期などは、どのように過ごしていたのでしょうか。

吉田 体が細くならないように、家でフィジカルを鍛えることが中心でした。もともとオンとオフの切り替えをしつかりするタイプです。おいしいものを食べるなど、ゴルフじゃない人生も普通に楽しんで、練習の時だけ集中力を100%に高めてやろうと自分で決めていました。

澁澤 私は何をするにも足踏みが長いので、試合がない期間を利用して少しでも人に追い付こうと練習を積んでいました。ただ、ゴルフ以外では走ることく

らいしか趣味がなくて、もう少し自分をリラックスさせてあげられる時間を作れば良かったかなと思います。

鶴岡 私はブラチナ世代と言われる2人より1つ上で、3年前にプロになりました。これまでは頭の中にゴルフしかなかったのですが、試合ができない期間はそれまで出来なかったことをやろうと決めました。

吉田 何をやったのですか？

鶴岡 ひたすら寝る。16時間寝たこともありました。

吉田 澁澤 エー!!

鶴岡 起きたら韓国ドラマを見たりして、幸せな時間でした。でも、それでリフレッシュして試合に集中できるようになりました。

澁澤 私もしフレッシュできるものを見つけないきゃ。

吉田 16時間寝れば？

澁澤 それはさすがに…(笑)。最近ではウクレレを買ってみて、練習しているけれど。

1人の練習では分らなかったことが多く見えました(鶴岡)

吉田 あの時はまだプロになろうと思っていなかったけれど、米国の整った環境に影響を受けて、ゴルフをちゃんとやってみようと思うきっかけになりました。

澁澤 敷地が広いし、IMGの持つ18ホール以外に提携するゴルフ場もいくつかありました。それまでは陸上の方が好きでしたが、ゴルフを続けて世界を舞台にやりたいと思うようになりました。感謝しています。

鶴岡 私は20メートルのシャトルラン(往復持久走)がつかつた思い出ばかり(笑)。1歳上の畑岡奈紗さんがナショナルチームに加わるまでは一緒だったけれど、彼女をはじめフィジカルトレーニングを皆しかりやっていた、大事なことなんだと思うようになりました。

鈴木 吉田プロは高校1年でナショナルチームに加わりました。古江彩佳、安田祐香、西村優菜ら今はプロで活躍する同世代の選手たちと世界を舞台に活躍しました。

吉田 同じチームでやってき

た人たちとは、いい影響を与えてきたという感じがあります。人それぞれプレイスタイルも強みも違い、チームとして練習していく中で聞くこともできる。プログラムもしつかり組まれ、いろいろな国を見ることもできたので、いい経験だったと感謝しています。

鈴木 加えて、麗澤高は勉強も大変だったと聞いています。

吉田 学校を休むと課題が山積み。それを家でやりたいくないので、早朝に学校に行って課題を終わらせて、練習して、帰ったら寝るだけという毎日でした。ゴルフばかりやって勉強ができなというのは言われたくありませんでした。質の高い練習を追い求めるのは、その時の経験からだと思います。

鈴木 澁澤プロは高校で地元の群馬県を離れ、福岡県の沖学園高に進みました。

澁澤 プロを目指すなら環境を変えなければ伸びないと思ったのが理由です。寮生活を経験して、洗濯など身の回りのこと



澁澤 自分がゴルフをやっていることを当たり前と思わず、感謝を忘れず、人に接する態度もしっかりと。そうすれば気持ち良いプレーができて応援したくなる選手にもなれるし、一番大事なことだと思っています。

間違ったことがあれば言ってくれて、 ありがたい環境（澁澤）

TKJは間違ったことがあれば言ってくれて、ありがたい環境でした。
鶴岡 TKJに入ってから、1人で練習していた時に分からなかったことが多く見えました。あの選手がなぜ強いのかなど、吸収することは多いほど得をする。そういうチャンス大切に、いろいろな人を見てほしい。私は今でも一緒に回る選手の強みや弱みをじっくり観察しています。そうすると楽しいし、気持ちにも余裕が出て、どんどん成長できる感じがします。

吉田・澁澤 これからは鶴岡プロと回る時は『そんなに私を見つめないで』と言うようにします（笑）

国内外のツアーで存在感を増す TKJの多才な先輩たち

昨年末、「TEAM KGA ジュニア」のメンバーには良い刺激となり、同関係者にはとても嬉しいニュースがイギリスから届きました。卒業生（現ナショナルチームメンバー）の中島啓太がR&A選定の「世界アマチュアゴルフランキング」の1位になったのです。

日本選手で同No.1になったのは、マスターズ優勝の松山英樹と金谷拓実に次いで3人目の快挙です。中島は今年の日本アマチュア選手権を制覇、国内ツアーでも何度も優勝争いに加わるなど、男子ゴルフの盛り上がりに一役買っています。

男子では、東京オリンピック日本代表の星野陸也もTKJ卒業生です。星野は国内ツアーで通算5勝（6月末時点）、海外メジャーにも招待されるプレーヤーになりました。他にも、ツアー優勝目前で、若手のホープと見られている石坂友宏。中国やアメリカの下部ツアーに挑み、逞しさを増した小斉平優和といった選手たちの活躍が光ります。

一方、女子では米ツアー選手の畑岡奈紗を筆頭に、多くの卒業生がツアーを賑わせています。いずれそこに、今春の関東女子ゴルフで2連覇を達成した佐久間朱莉や、優勝を争った岩井明愛・千怜姉妹、六車日那乃らが加わることでしょう。



中島啓太（上）は2017年に、石坂友宏（下）は2018年に関東アマを制している。



も率先してするようになりまして。同級生の後藤未有プロとはすごく仲良くなって、何でもはつきりと言ってくれるので、おどおどしている私にはちょうど良かったです（笑）
鈴木 鶴岡プロが進んだ湘南学

院高は、1学年上に原英莉花選手がいましたよね。
鶴岡 英莉花先輩は同じ横浜出身で、小学校の時から練習場も一緒でした。先輩から部活の内容も聞いて、厳しいというので、公立高より環境はいいと思いました。今は一番近い存在である英莉花プロにいつかは並び、抜きたいという思いがあります。



左から、「TEAM KGA ジュニア」認定選手時代の澁澤選手（2013年）、鶴岡選手（2014年）、吉田選手（2013年）

TEAM KGA
JUNIOR

TKJは環境が整っているし、 整えようとしてくれる（吉田）

吉田 その人ができたから自分もできるとは思いません。ただ、そのような可能性を持って海外メジャーで結果を出したのなら、自分はどうすればいいのか、どのようなプログラムを組んで練習していけばいいのかと考えるきっかけになりました。日本は今後も若い選手がどんどん出てきて、世界も含めて全体のレベルは上がっていく。少しでも調子を崩せば予選落ちという厳しい世界になると思います。

鶴岡 他の選手の活躍を見ていただけなのは悔しいです。いつかは同じ土俵に立ちたいと燃えています。ボールもクラブも進化を続けてレベルは高くなっていくから、何としても生き残っていかなければと思っています。
澁澤 私はステップアップツアーが今は中心だけれど、将来は海外に行きたいので、まずは目の前の目標を一つ一つクリアしていくことだと思いました。最新のクラブで最新のトレーニングを積んだ選手が下から上がってくるので、自分もどんどん研究して成長していかなければ。
鈴木 最後に、TKJの後輩に伝えたいことを。

吉田 TKJは環境が整っているし、整えようとしてくれている。私もコースを探してもらったりして助けられたので、困ったことがあれば誰かに相談した方がいい。マナーやルールの講習もあり、そういうのは後になって役立つから、さりと受け流すことはせずにしっかりと受けてほしいです。

吉田優利プロ KGAのジュニア育成活動に寄附

今年1月14日、今回の「TEAM KGA ジュニア（TKJ）」卒業生プロ鼎談にも参加された吉田優利プロより、KGAのジュニア育成活動に対し、感謝と支援のご寄附をいただきました。

吉田プロはTKJを経て、日本ゴルフ協会のナショナルチームのメンバーに選出。数々の国際競技で活躍後、

昨年の日本女子プロゴルフ協会のプロテストに合格。今年はルーキープロとしてさっそく優勝争いに加わるなど、高い実力を示しています。

吉田プロの活躍はTKJの後輩たちにとって大きな刺激であり、目標になることでしょう。

ますますのご活躍を！



左から佐藤敏明副理事長、吉田優利プロ、笠川喜久男ジュニア育成委員長

特集3

改修という名の再構築

— 高度な戦略性と幅広い層へのアプローチ —

KGAグリーン委員会による、東京五輪のゴルフ競技の舞台、埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部東コースの視察会が5月20日に開催された。トム・ファジオデザインにより全面改修を施した同コースは、正に現代的なチャンピオンコースに変貌を遂げていた。



視察会では、説明を受けながらコースを歩いて回った。

コース改修は2015年10月に着工し、16年9月に終了。10月23日より仮オープンし、17年4月1日に正式リニューアルオープンした。この改修は、10年より10年先を目処に検討されてきたコース改修プランを、五輪会場決定を機に前倒して行われたものだ。 「コース改修とは言え、芝も全部剥がし、グリーンも最初から造り、バンカーなどの形状・配置もすべて見直したので、ほぼ新設コースと同じだと思っています」と、キャプテンの大野了一氏は語る。

ホール配置はそのままに、各ホールのデザインを根本的に見直したわけだが、なかでも大きな変更の1つが1グリーン化である。

も手応えがあり、アベレージゴルフファームも楽しめるコースというリクエストだけを伝え、細かな指示は出していません。彼らは基本的なスタンスとして、コースの難易度は距離と同等にホールの幅がポイントと考えており、幅の絞れない2グリーン、1グリーン化は当然のことという認識でいたのだと思います」（大野キャプテン）

1グリーン化の結果、グリーンの平均面積は649㎡（最大850㎡、最小554㎡）となり、これまでの約1・5倍以上（旧Oldグリーン）になった。

さらに、グリーンが形状が大きい以上にコースのポテンシャルを上げている。これまでの砲台グリーンのイメージは影を潜めつつ、グリーン面は複雑にアンジュレーションが絡み合う。ただし、90年前後に日本でも盛んに造られた、アンジュレーションがきつく平面の少ない、いわゆるポテトチップグリーンではない。

たとえば、3段グリーンであっても、単純に3つの段差ではなく、いくつもの平面が微妙に捻れた段差によって区切られて点在する。したがって、同じ最上段の面でも、その間に段差（アンジュレーション）があり、カップが切られた面に



10番ホール

東コースヤーデージ

HOLE	Tournament Tee	Regular Tee	Ladies Tee	Par	Hcp.
1	411	379	323	4	9
2	381	358	294	4	17
3	459	393	333	4	3
4	237	177	128	3	13
5	640	550	462	5	1
6	386	334	249	4	11
7	217	170	124	3	15
8	586	539	442	5	5
9	521	408	351	4	7
OUT	3838	3308	2706	36	
10	189	141	97	3	14
11	461	410	320	4	10
12	499	433	376	4	4
13	398	341	287	4	18
14	632	539	452	5	2
15	403	373	320	4	8
16	203	163	115	3	16
17	343	306	247	4	12
18	500	405	329	4	6
IN	3628	3111	2543	35	
TOTAL	7466	6419	5249	71	



五輪では、2週間に渡る競技に耐えられる基礎体力のあるグリーンを作ることが大変（東海林キーパー）

乗らなければ、超難関なパッティングが残る。それはグリーンを外した場合でも、場所によってアプローチの難易度が極端に変わることを意味する。2000年代に入って米国で主流となっているデザインである。

なお、グリーンの芝種は6つの品種を5年間テストして決定した。ペント第4世代と言われる007を使用している。

最近のコース改修では、ティーイング場所を下げて距離を伸ばし、バンカーなどのハザード位置を変えてギアの進歩に追いつこうとするケースが多く見られるが、グリーン形状をここまで変えると戦略は一変し、どのホールも難易度は全く違うものになる。

バンカーの配置の妙がさらに戦略性を上げる

霞ヶ関CCの場合、バンカーの位置や形状も以前とはすべて違



大野了一キャプテン

う。フェアウェイ（FW）バンカーはチャンピオンティーから300ヤード前後に配置されている。奥行きが30〜50ヤードというから、ワールドクラスのトッププロ仕様とも言えるだろう。また、バンカーはややフラッシュウ味になっており、ティーからその存在が確認しやすい点も現代的なデザインと言える。

また、ガードバンカーについては、デザインの妙が窺えるという。 「そこにバンカーがあることでグリーンがあまり大きく見えなかつたり、バンカーからグリーンまで距離があってもすぐ上に旗竿が立っているように見えるなど、配置と形状によりプレーヤーに錯覚を起こさせるようなところがいくつもあります」（大野キャプテン）

デザインの变化はハザードだけでなく、ティー位置やFWにも見られる。特にFWはこれまでフラットだったものが、アンジュレーションがついているのだ。 「芝を剥した後、FWを削るようにしてアンジュレーションをつけていました」（大野キャプテン）

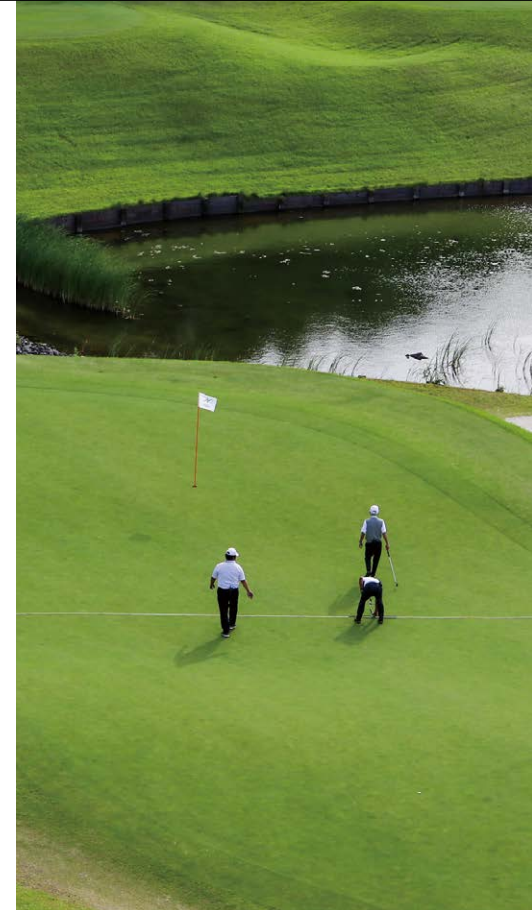
FWにもアンジュレーションがあれば、ラフとのライン取りなど、さらに戦略性を上げる工夫がコース側でもできるはずである。 「FWのラインはファジオデザインが作りましたが、五輪開催に当たって、国際ゴルフ連盟（IGF）の指示で4ホールほど狭めました。コウライラフになるので、伸ばすところとぎついだろうと思います」（大野キャプテン）

全面的なコース改修では、単に戦略性だけでなく、今後を考えたコース管理への配慮も大切な要素だ。

「イリゲーションについてはコンピュータ制御の散水装置を新設しています。FWとラフにスプリンクラーヘッドを2〜3列配置しているの、水撒きに関してはだいぶ助かっています」と、グリーンキーパーの東海林護氏は語る。五輪準備に関してはIGFのアグロノミストの指示のもと、コース管理に当たっているが、管理手法の違いもあり、大変だっただろうと推察する。

なお、霞ヶ関CCでは36Hを50名前後で管理しているが、五輪時はボランティアを増やし、130名を予定している。コロナ禍がなければ、海外ボランティアも多数参加し、海外の専門家の目にこのコースが触れることになっただけに、その点が少々残念である。

グリーン委員会・霞ヶ関カンツリー倶楽部東コース視察会より



特集4

コースセッティング考察

—コースセッティングは
ストーリー作りから始まる—

ティーイングエリア(＝ティーマーカーの位置)や旗竿の位置によって、ホール難易度は大きく変わる。競技委員は、どのような考えでコースセッティングをし、ホールロケーションを決めているのか。5月、栃木県の日光カンツリー倶楽部で行われた関東女子ゴルフ選手権決勝競技(以下、関東女子決勝)を例に、関東ゴルフ連盟の内藤正幸競技委員長に話を聞いた。

内藤委員長は、コースセッティングを決める際、競技委員に「物語(ストーリー)を描いてほしい」とよく示唆する。物語とは、その競技の「テーマ」、その日のラウンドの「方針」であり、競技委員が選手に示す「メッセージ」でもあると語る。

「競技によって、ストーリーは変わります」と内藤委員長。

「例えば、交流の場でもある倶楽部対抗は、楽しんで回ってもらえるよう、難易度を抑えます。ただ、ハーフに一か所は、難易度の高いホールロケーションがあります。『あのホールは難しかったなあ』という会話、思い出ができるようにするためです」とそこに込めた思いを語る。

最終日、難易度の順位がガラリと変わった

今年の関東女子決勝の場合、初日(第1ラウンド)の1番ホールは、パー4の10ホール中、難易度順で上から6番目(平均スコア4・31)で、2番ホールは7番目(4・30)。ともに、比較的難易度の低いホールになっていた。

それが、最終日(第3ラウンド)になると、2番ホールが最も難易度

が高く4・37、1番ホールがその次4・35と、難易度の順位がガラリと変わった。平均スコアはあまり変わらないが、出場選手数が二日目(第2ラウンド)までは120人弱いて、最終日は上位69人に絞られていたことを考えると、大きな変化だ。

この理由について、内藤委員長は「新型コロナウイルスの影響で、2年ぶりの開催。一日目の1、2番ホールは、穏やかなスタートを切ってもらおうと考えました」と明かす。

一方、最終日が厳しいホールロケーションになったのは、選手たちに「今日は厳しい戦いになりますよ」というメッセージを込めたというのである。

優勝した佐久間朱莉選手は、最終日、1番ホールでバーディー、2番ホールはバーにまとめてみせた。好スタートを切ったことが、大会新記録のスコアにつながったのだろう。

数ホールにわたって込められたメッセージもある。最終日のアウトコースについて、内藤委員長は「1、3番ホールは『センター狙いがベター。攻めてはいけません』というホールロケーションで、4、6番は『距離を合わせる』こと。オーバーは禁物です、7、9番は『思い切り攻めることができます』

というテーマの下にホールロケーションを決めた」と打ち明ける。

実際にパターで球を転がしてみる

こうしたセッティングを決める時、具体的にどのような方法がとられているのだろうか。

内藤委員長は「いきなりグリーンに行つて、ホールの位置を決めると、狙ったストーリーにはなりにくい」と明かす。

「まず、IP(インタークロス・セクション・ポイント)からグリーンを見ること。IPは通常、男子はティーイングエリアから250ヤードの地点です。パー5なら、第2IP(250+220ヤード)470ヤード地点)からグリーン方向を望みます。そうすれば『あそこに旗竿を立てられたら、気持ち悪いな』という、選手目線でホールの特徴を捉えることができるのです」

グリーン上では、仮想のホールに向かつて、「実際にパターを使って球を転がしてみる」をポイントに挙げる。それは、主にホールから先の転がりを見るためという。「誰が打つても、どんな先に転がってしまうような傾斜では、技術の差が出ません。それはフェア



競技委員が描いた「物語」を読めるようになると、競技はより面白くなる。

ではないのです」と内藤委員長。さらに、「日光カンツリー倶楽部では、止まりやすい逆目を利用して、いつもよりきつい傾斜のポイントを選択したホールもありました。これは傾斜計や、手で転がすことでは見えないホールロケーションの面白いところです」

また、アウト、インの9ホール単位で考えた場合、縦3分割、横3分割の計9ブロックにグリーン面を分け、「なるべくすべてのブロックを使うように考慮してほしい」と言う。

「そうすれば、ドロウ打ち、フェード打ちのどちらかに有利になることはないし、球筋を操る技術が求められることになりそうですから」さらに「プレーの進行も頭においてください」と内藤委員長。

確かに、スタートの3ホールを難易度を上げ過ぎると、競技の流

2021年関東女子ゴルフ選手権決勝競技(日光CC)パー4ホール難易度

難易度順	第1ラウンド		第3ラウンド	
	ホール	平均ストローク	ホール	平均ストローク
1	11	4.51	2	4.37
2	18	4.47	1	4.35
3	17	4.43	11	4.34
4	15	4.40	17	4.32
5	7	4.39	18	4.32
6	1	4.31	15	4.21
7	2	4.30	7	4.16
8	5	4.16	6	4.04
9	6	4.10	5	4.03
10	14	4.03	14	3.90

れが一日、悪くなってしまう。

関東女子決勝の一日目は、インの流れが悪かったと振り返る。そこで、二日目は、12番パー3のティーマーカーを前方に移し、ホール位置も手前にして流れを改善した。

関東の決勝競技は、同じカテゴリーの日本の選手権競技やにつながる試合でもある。

内藤委員長は「関東の決勝競技で難しいコースセッティングを経験すれば、その上の競技でも対応できるようになるでしょう」と胸の内を話す。コースセッティングは、選手を鍛え、育てる役割も持っている。



スクール指導要領動画と指導要領の内容に沿って作成されたマナー編と規則編のビデオ。



この普及部会の役割はジュニアスクールを通してジュニアの育成に努めることです。KGA全体のレベルアップを図るには、各都県の委員が統一された指導方法・要領で指導することが求め



コロナによる活動制限のなか
今後も意欲的に取り組むたい
部会長 岩田淳子(新任)

活躍が目覚ましいKGAのジュニア その土台作りを支援する

ジュニア育成委員会普及部会

められます。指導者が変わるたびに教え方が違っては、ジュニアは戸惑ってしまいます。また、競技運営についても、例えばコースセティングのクオリティは全都県が揃える必要があります。そうした構造を作るのも、この普及部会の役割です。ジュニア合宿に併せて開催する指導者研修会は、そのための大事な研修の場ですが、コロナ感染予防のため昨年からその機会を持つことができません。そこで、昨年11月頃からジュニア育成委員会の笠川喜久男委員長と協議し、初めての試みですが、「ジュニア指導要領(マナー編と規則編)」を分かりやすくまとめたビデオを製作。委員の皆さんに配信しました。コロナ禍で活動にもさまざまな制限がありますが、今後も意欲的に取り組みたいと思っています。



3月29日に相模CCで開催された春季ジュニア・ゴルフスクールは満開の桜のもと、晴天のなか実施された。

来年度国内導入予定のWHSの 推進という重要な任務を担う

ハンディキャップ委員会普及部会



前列左から、平本桂樹ハンディキャップ委員会委員長、渋谷信行副委員長・普及部会長、後列左から、八木秀夫普及副部会長、岡田光史副委員長・査定部会長、三木恵美子普及副部会長。

現状を考えると普及には長い時間がかかりそう

部会長 渋谷信行(新任)

この普及部会は、来年度国内導入予定の「ワールドハンディキャップシステム(WHS)」の普及と言う大きな任務を担っています。

しかし、KGAでも約6割の倶楽部が「倶楽部ハンディ」で競技を実施している現状を考えると、移行は簡単とは思えません。倶楽部(もしくはゴルフ場運営会社)、倶楽部のハンディキャップ委員会、そしてプレーヤーの皆さんに、一緒に理解していただかないと、移行は進まないでしょう。しかも、そのリーダーシップをどこが執るのか、倶楽部ごとに異なりますから、普及には長い時間と手間がかかると思っています。

これからは、さらにJ・S・Vの幅広い普及が重要と考えています。

正しいハンディキャップを
持つことはゴルフの責任

副部会長 八木秀夫(新任)

もともとハンディキャップは

すべてのゴルフアが普段から活用し、その正しい数値を持つことはそれぞれの責任と組織に任せて済ますものではありません。そのうえで、このWHSは技量の異なるゴルフア同士がどのゴルフ場でも、よりフェアに競い合えるシステムです。

ゴルフアの皆さんには、より活用してゴルフを楽しんでもらいたい。その普及に努めたいと思います。

WHS利用でゲームとしての
ゴルフも楽しんでほしい

副部会長 三木恵美子

WHSを活用すれば、例えばご夫婦、あるいはおじいさま・おばあさまとお孫さんといった技量が違うゴルフア同士が、異なるティーを使っても、フェアに競い合えるようになります。スコアを競い合うだけではなく、ゲームとしてのゴルフを楽しむことができます。ですので、WHSがスタートすれば、多くの人に一度実際に使ってみて、ゴルフの新しい楽しみ方を知ってほしいですね。今後は、この普及に努めたいと思っています。

卒業直前のジュニアから感謝の言葉を贈られたことに感激

副部会長 秋川満(新任)



ジュニア育成委員になって10数年になります。この活動に携わって一番うれ

しかったのは、ルールやマナーに関して厳格に対処したジュニアが、卒業を前にわざわざ「お世話になりました」と連絡してくれたことです。ジュニアたちの技量は間違いなく上がりましたが、ルールやマナーについては、まだまだ未熟な選手が多くいます。その大切さを学んでもらい、社会人として通用する人間形成をしてもらいたいと思います。

ジュニアの指導は自分のゴルフ
を見つめ直すいい機会

副部会長 神戸誠



何年やっても、やりがいを感じながら担当させてもらっています。という

のも、ジュニアたちを指導しながら、「あれっ? 果たして自分はきちんとやっているだろうか?」と自分のゴルフを見つめ直すいい機会になるからです。そして、最近はこちらから巣立った選手たちとプロアマ競技で直接再会するなど、彼ら彼女らの活躍を見る機会が増えたことは、とてもうれしく思っています。

世界で通用する ゴルフ英語を 知っておこう！

「日本で使われているゴルフ英語があまりに間違えばかりで、世の中がグローバルになつていくのに、このままではあまりに恥ずかしい」と警鐘を鳴らしている人がいます。ゴルフ英語改善協議会会長の村越秋男さんで、「今日はノーボギーで上がったなんて平気で自慢しているけど、そんな英語は存在しない。今日はボギーフリーだったというべきなのです。無税を

タックスフリーというのと同じです」と言います。「ゴルフターナメントの実況中継でアナウンサーや解説者が間違ったゴルフ英語を使うのでそうなるってしまふ。世界に羽ばたいていくジュニアがこうしたニセ和製英語を使って世界の選手たちと話したら大恥をかきます。今こそ正していかなければ」との使命感から、最近、『世界で通用するゴルフ英語』なるものを電子書籍で出版した。

私も読ませてもらったが、いかに自分がいい加減にゴルフ英語を使ってきたかと赤面してしまふ。「ノーボギー」もそうだが、「バーオン」なども平気で言っている。正しくは「ヒット・ザ・グリーン・イン・レギュレーション」である。外国人にとっても長いから頭文字をとってGIRと略したりする。ツアーのスタッツでも使われているから知っている人もいるだろう。故に、村越

さんは日本では「GIRする」といったらどうかと提案する。また「グリーンオン」という言葉は「ゲット・オン・ザ・グリーン」が正しい。「ツウオン」は2打で乗ることだから「イン・トゥ」となる。「ツウオン」ではグリーンにボールが2個あることになってしまふから絶対にやめたいところだ。

村越さんが恥ずかしがるのは良いスコアを「ハイスコア」と「ビッグスコア」と言うところだ。なぜってハイスコアは高得点のことだから、ゴルフならば大叩きになってしまふ。それも「ビッグスコア」なら超大叩きだ。正しくは「ロースコア」だから「今日はロースコアだった」と言うべきなのだ。これに類すること「スコアアップ」なる言葉もある。スコアが良くなることを示したいのに下手になることを示してしまふ。「私に習ったらスコアアップ間違いなし」などと

言うレッスンプロは要注意だ!? さらに「アゲンスト」「フオロー」も驚きの和製ゴルフ英語である。「アゲンスト」は前置詞だが、それが名詞として使われる。向かい風なら「イントウ・ザ・ウィンド」。追い風なら「ウイズ・ザ・ウィンド」が「ダウン・ウィンド」。本当の英語がわかっていて、日本で「アゲンスト」や「フオロー」を使うのなら許せるが、トップジュニアには真実を知っていて欲しい。それと同様に「アプローチ」なる言葉も正しく理解して欲しい。日本では「アプローチ」はグリーン周りのショットになるが、これは「チップ」か「チップング」だ。「アプローチ」は正しくはピンを狙うショットのこと。故にピンまで200ヤードのショットもアプローチなのである。これもジュニアにはぜひとも「常識」として覚えておいて欲しいゴルフ用語である。(文／本條強委員)

申込者急増の「関東月例」 人気の背景にフレンドリーな運営



競技委員会月例競技部会 赤澤正輝部会長

開催自肅明けの今年、KGA主催競技には競技ゴルフを切望していたゴルフアからの出場申込みが増加。なかでも月例競技、いわゆる「関東月例」(昨年9月から再開)は120名の定員に毎月200名を超える申込みがある。18年までは90、100人程度、冬季は80人ほどだったのが、なぜこのような人気に? その理由とともに、関東月例の意義等を月例競技部会長の赤澤正輝部会長に尋ねた。

「申込みが増えた理由はいくつか考えられます。ひとつは、ポイントシード(KGA決勝競技の出場シード権)のメリットの理解が広まったこと。また、19年から参加資格のハンディキャップインデックスが緩和され(男子は3・4から6・4に、女子は9・4から12・4に緩和)、有資格者が増えたこと。そして、コロナ禍のために、競技は120名のスループレーになり、全員参加が義務の表彰式がなくなったことも希望者増加の理由でしょう。かつては、その表彰式で学べたり、気づかされることがありました。代わり、今はプレイング委員という、技術だけでなく、マナーや人格的にも優れた、リーダーシップをとれる選手を配置。参加者が一緒にラウンドしながら、質問したり、学べる環境になっていきます」と赤澤部会長はいくつかの理由を挙げる。

プレイング委員は全国的にも知名度のある名選手ばかり。彼ら・彼女らと一緒にプレーできることは、参加者にとって大きな魅力に違いない。

また、月例競技には「決勝競技の出場権が得られるポイント争い」のイメージがあるが、実際にはそれとは異なり、「楽しくラウンドしながらゴルフを学べるから」と参加を希望するプレーヤーが多い。確かに、昔は、厳しい指導のイメージがあった関東月例だが、今は全体的にフレンドリーな運営になっている。それでも、赤澤部会長は、

「関東月例の目的は『競技を通じて、エチケット、マナー、ルールを研修し、技術を研鑽し、良き指導者としてのプレーヤーを目指す』ということであり、関東月例を通して、日本のゴルフ界は大げさですが、それぞれの所属倶楽部や周辺のゴルフアの手本、模範的な社会人ゴルフアをつくらせていきたい」と月例の主旨を強調する。



6月月例(飯能GC)に参加したプレーイング委員の水上晃男委員

一般社団法人関東ゴルフ連盟 第5回定時社員総会開催

令和3年3月11日(木)、ホテルグランドアーク半蔵門にて「第5回定時社員総会」が開催されました。

本年度は昨年度に引き続き、コロナ禍での開催のため3密を避けるような座席位置の工夫や会議の時間短縮、マスク着用、消毒液の設置、自動体温計測機等、徹底したコロナ対策の中、実施しました。

第1号議案：第4期事業報告、貸借対照表及び損益計算書承認の件

第2号議案：第5期事業計画・収支予算承認の件

第3号議案：理事・監事任期満了に伴う改選の件

以上、全て原案通り承認されました。

また、本年度もKGA役員及び関係者と関連団体及び企業との懇

親を目的としたパーティーは中止となりました。

今期、勇退された役員、委員の皆様と、ジュニア育成活動への寄附をいただいた団体及び企業様へ感謝の意を込めて、感謝状を後日お贈りしました。

●勇退された役員、委員の方々。

酒巻一生様、相馬和胤様、早川恒雄様、福田豊様(ご逝去)、大竹徹様、荻島富雄様、落合麻紀様、小林勝美様、須藤嘉也様、東福寺勝昭様、内藤勝久様、増岡隆一様、森博英様。

●ご寄附をいただいた団体及び企業の皆様。

一般社団法人群馬県ゴルフ振興基金様、住友ゴム工業株式会社様、ミズノ株式会社様。



JGAハンディキャップ専用サイトオープン

公益財団法人日本ゴルフ協会(JGA)は、2021年4月にハンディキャップの専用サイトを開設しました。このサイトでは、ハンディキャップインデックスの解説から、取得方法やイベント情報、またゴルフ場におけるJGA/USGAハンディキャップインデックスの導入事例など、最新情報を紹介しています。

世界には約7種類のハンディキャップの計算方法がありますが、このハンディキャップシステムをひとつに統一し、世界中どこでも同じ

ハンディキャップでプレーできる、世界共通のハンディキャップシステム『ワールドハンディキャップシステム(WHS)』が、2022年春から日本でも導入されます。

関東ゴルフ連盟では日本ゴルフ協会と協力し、来年度のスムーズな導入に向け準備を進めています。KGAホームページで紹介しているハンディキャップの解説動画も公開されていますのでぜひご覧ください。



ハンディキャップ専用サイト



(広報委員長・吉田裕明)

編集
後記

コロナ、コロナ、コロナ。コロナ禍に振り回された1年が終わり、無事に定時社員総会が終わった。ここに至る、理事長をはじめとする役員・委員の方々、局長以下事務局の皆さんの奮闘に敬服し、心から感謝する。再開された競技での競技委員会の活動については本号の特集で取り上げさせていただいた。その

他の面でも、しばらく続くと思われるwithコロナの時代、そして来るべきpostコロナの時代に向けて、KGAの新たな活動が再開された。5年後、10年後の姿は想像出来ないが、明るい話題に溢れていることを期待したい。

2021年 春季ジュニアゴルフスクールが開催されました



2021年の春季ジュニアスクールは、JGAジュニア会員の中・上級者を対象として、3月29日(月)相模カンツリー倶楽部、鷹之台カンツリー倶楽部、4月2日(金)袖ヶ浦カンツリークラブ袖ヶ浦コースの3会場で開催しました。

相模カンツリー倶楽部・小学4年生～6年生は50名の参加、鷹之台カンツリー倶楽部・中学生～高校生は95名の参加、袖ヶ浦カンツリークラブ袖ヶ浦コース・中学生～高校生は89名が参加しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、新しい運営方法で実施しました。

ジュニア育成委員会で作成した「新型コロナウイルス対策スクー

ル用ガイドライン」を参加者とジュニアの指導委員へ事前に配布して、注意事項などの情報を共有しました。

当日は参加者がクラブハウスに入場しないという規定で実施し、密を避けるために、開講式、講習会、表彰式、閉校式は行いませんでした。また、18ホールスループレーとし、9ホール終了後に各自持参した軽食をとってもらいました。

なお、指導委員はプレー中の安全を確認するため、小学生には各組に1名、中・高校生には2～3組に1名が帯同して、エチケット・マナー、規則、プレーファストの要領について直接指導にあたりました。

地域 通信

地元地域とともにゴルフが果たす社会貢献 栃木県WAGシニアゴルフスクールレポート

今年で3年目になる栃木県WAGシニアゴルフスクール。このスクールはゴルフ未経験者及び初心者を対象としたスクールで、栃木県と地域自治体の後援を受け、栃木県ゴルフ場協議会が中心となり、県議会と県のプロ会と共に開催しています。

今年度はKGA加盟倶楽部の烏山城カントリークラブ(那須烏山市)と鹿沼プレミアムゴルフ倶楽部(鹿沼市)で開催されました。

例年、各会場の定員を15名としていますが、応募が殺到したため、それぞれ20名まで枠を増やし、指導者も追加して実施しています。さらに各会場ともに7～8名のキャンセル待ちがあり、年々参加希望者が増しているほどの大盛況ぶりです。2019年からの3年間でスクール参加者は100名を超えました。

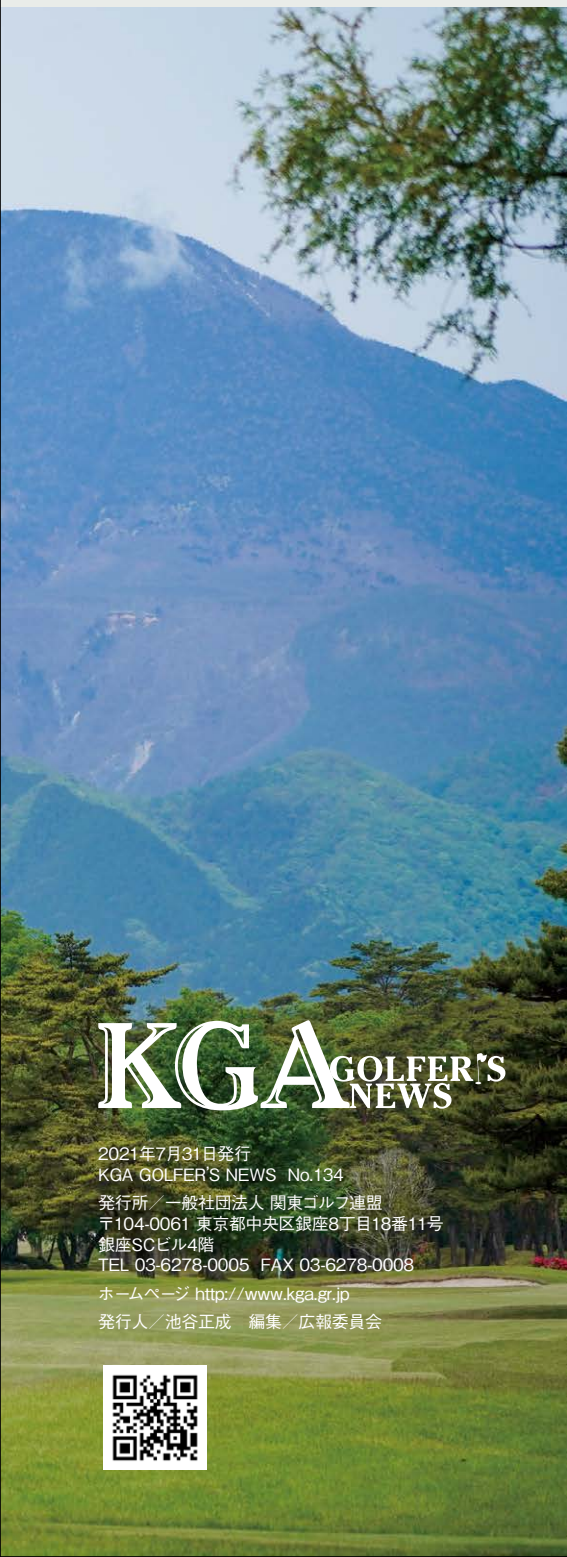
「3年目の今年、地域振興という観点から、病院の待合室に設置されているフリーペーパーに、今年度の定員を15名としていますが、応募が殺到したため、それぞれ20名まで枠を増やし、指導者も追加して実施しています。さらに各会場ともに7～8名のキャンセル待ちがあり、年々参加希望者が増しているほどの大盛況ぶりです。2019年からの3年間でスクール参加者は100名を超えました。」

今年度はKGA加盟倶楽部の烏山城カントリークラブ(那須烏山市)と鹿沼プレミアムゴルフ倶楽部(鹿沼市)で開催されました。

に募集案内を掲載しました。自治体の後援があることで市町村の広報誌にも掲載していただけたのですが、それを見て応募される方が多かったですね。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で、比較的高リスクが低いとされているゴルフに参加しようと考えた方も多かったのかもしれません」

(栃木県ゴルフ場協議会 高山事務局長)





KGAGOLFER'S NEWS

2021年7月31日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.134

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／池谷正成 編集／広報委員会



成田ヒルズカントリークラブ

270-1506

千葉県印旛郡栄町龍角寺1236-3

TEL : 0476-95-5555



日光カンツリー倶楽部

321-1421

栃木県日光市所野2833

TEL : 0288-54-2128